

平成30年8月21日 話題事項

平成30年8月17日 資料提供済



みなべ・田辺地域で 「第5回東アジア農業遺産学会 (ERAHS^{※1})」を開催！！

日中韓を中心とする東アジア地域の農業遺産研究者が一堂に会し、農業遺産の保全と活用に関する情報を交換するとともに、関係者間の交流を深めるため、下記のとおり**第5回東アジア農業遺産学会**を関係団体と共同で開催します。

国内のみならず、中国、韓国から多数の研究者等が来県されるこの機会を活用し、世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」ならびに当該地域のすばらしさを全力でPRしていきます。

■ 第5回東アジア農業遺産学会の概要

テーマ：世界農業遺産(GIAHS^{※2})と持続可能な社会

期 日：平成30年8月26日(日) ～8月29日(水)

場 所：Hotel & Resorts WAKAYAMA-MINABE(旧紀州南部ロイヤルホテル)

※現地見学(和歌山県うめ研究所、みなべ町うめ振興館、紀州石神田辺梅林、紀州備長炭記念公園 他)

主 催：東アジア農業遺産学会、みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会、
和歌山県、みなべ町、田辺市

プログラム：別添のとおり

参加者：中国、韓国、日本など東アジア地域の農業遺産に関する研究者や認定地域の関係者、
国際連合大学、国連食糧農業機関(FAO^{※3})、地元関係者 等 約600名

※1 ERAHS : East Asia Research Association for Agricultural Heritage Systems 東アジア農業遺産学会

※2 GIAHS: Globally Important Agricultural Heritage Systems 世界農業遺産

※3 FAO : Food and Agriculture Organization of the United Nations 国連食糧農業機関

【お問合せ先】

農林水産総務課 立石・塩路・林 ☎ : 073-441-2896

みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会事務局

みなべ町役場うめ課 中早・谷本 ☎ : 0739-74-3276



第5回 東アジア農業遺産学会

East Asia Research Association for Agricultural Heritage Systems (ERAHS)

世界農業遺産 (GIAHS) と持続可能な社会

日時 2018年8月26日(日)~29日(水)

Date

会場 Hotel & Resorts WAKAYAMA-MINABE

Venue 和歌山県日高郡みなべ町山内348

主催 東アジア農業遺産学会 (ERAHS)、みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会、和歌山県、みなべ町、田辺市
共催 世界農業遺産広域連携推進会議、J-GIAHS ネットワーク会議、中国農学会農業文化遺産分会、韓国農村遺産学会
後援 農林水産省

東アジア農業遺産学会 … 日本、中国、韓国の研究者や関係者で構成し、農業遺産に関する研究や情報交換を行っています。

世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」

2015年12月、400年前から受け継がれてきた持続可能な梅を中心とする農業システムが世界農業遺産に認定されました。みなべ・田辺地域では、しんたんりん薪炭林を残しつつ、山の斜面に梅林を配置することで、かんよ水源涵養や崩落防止などの機能を持たせながら高品質な梅が生産されていることで、梅の花の受粉における二ホンミツバチの利用や里山・里地の自然環境の保全により、豊かな生物多様性を維持していることなどが、高く評価されました。

学会に関するお問合せ先

和歌山県庁 農林水産 総務課内「みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会」
〒640-8585 和歌山市小松原通一丁目1番地
TEL:073-441-2896 FAX:073-433-3024 E-mail:e0701002@pref.wakayama.lg.jp

運営、参加申込に関するお問合せ先

株式会社JTB 西日本MICE事業部「第5回東アジア農業遺産学会」係
〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町3-1-8 MPR本町ビル9階
TEL:06-6252-5044 FAX:06-7657-8412(平日9:30~17:30/土日祝・休) E-mail:n_sadamori014@jtb.com

第 5 回東アジア農業遺産学会 (ERAHS^{※1}) プログラム

2018年8月26日(日)	
10:00-20:00	登録(参加者受付)
2018年8月27日(月)	
08:30-09:00	開会式 ・小谷芳正(協議会会長、みなべ町長)、仁坂吉伸(和歌山県知事) ・神山修(近畿農政局長)
09:00-10:00	基調講演 ・遠藤芳英(FAO ^{※2} GIAHS 事務局長)「GIAHS をめぐる最近の動向」 ・ミン・チンウエン(FAO GIAHS ^{※3} SAG ^{※4} 、中国科学院地理科学・資源研究所教授)「アドバイザーグループの取組」 ・武内和彦(ERAHS 名誉議長、東京大学サステイナビリティ学連携研究機構機構長・特任教授)「GIAHS とパートナーシップ」
10:00-10:20	写真撮影、ポスターセッション (各認定地域の紹介)
10:20-12:40	パラレル・シンポジウム 1, 2
	シンポジウム 1: GIAHS の次世代への継承 (通訳付き)
	シンポジウム 2: GIAHS とブランド化 (英語のみ)
12:40-13:40	昼食
13:40-16:00	パラレル・シンポジウム 3, 4
	シンポジウム 3: 地域の多様な主体の GIAHS 保全への参加 (通訳付き)
	シンポジウム 4: GIAHS と農村ツーリズム (英語のみ)
16:00-16:30	ポスターセッション (各認定地域の紹介)
16:30-17:30	基調発表: 各国における GIAHS/NIAHS の進展 ・リウ・ハイタオ(中国農業・農村国際交流サービスセンタープロジェクトオフィサー) ・原孝文(農林水産省農村振興局農村環境課長) ・ユン・ウォンゲン(韓国農村遺産協会会長、協成大学校教授)
17:30-18:30	全体会合(パラレル・シンポジウムの総括) 及び閉会式 ・中村浩二(ERAHS 代表議長、金沢大学客員教授)、真砂充敏(田辺市長)
19:30-21:00	レセプションディナー
2018年8月28日(火)	
09:00-17:00	現地見学
	和歌山県果樹試験場うめ研究所、みなべ町うめ振興館、紀州石神田辺梅林、紀州備長炭記念公園 他
17:00-18:00	第10回 ERAHS 作業会合 (関係者のみ)
2018年8月29日(水)	
08:30-11:00	テーマ別セッション
	セッション 1: GIAHS のモニタリング・評価 (英語のみ)
	セッション 2: GIAHS の生物多様性の保全 (英語のみ)

※通訳は、日本語・中国語・韓国語・英語の同時通訳

※1 ERAHS: East Asia Research Association for Agricultural Heritage Systems 東アジア農業遺産学会

※2 FAO: Food and Agriculture Organization of the United Nations 国連食糧農業機関

※3 GIAHS: Globally Important Agricultural Heritage Systems 世界農業遺産

※4 SAG: Scientific Advisory Group 科学アドバイザーグループ